

# きずな

## カラオケ クラブ発足

主任 宮端 誠

11月になって、秋も深まってまいりました。秋も短くなってきた感じが、いかにお過ごしでしょうか。

この度、令和元年9月15日から、新しいクラブ活動としてカラオケクラブを立ち上げ、試験的に活動を行いました。このクラブ活動は、平日の日中は、作業をして頑張っている方、何もされず、ベッドで過ごされている方へ、少しの時間でも参加していただき、カラオケで歌を歌うことによつて心身のリフレッシュを図り、利用者同士の親睦を図り、皆さんに楽しんでいただけるように、土

日・祝日限定でのプログラムとして計画し、活動が実施できるようにになりました。

多くの利用者の方が参加され、楽しそうに歌を歌い、それに合わせて口ずさんでいる方、歌を聞いて楽しんでいられる方、それぞれの方が、楽しそうにされているのを見て、私たち職員は、カラオケクラブの活動を実施することが出来て、すごく嬉しく思いました。



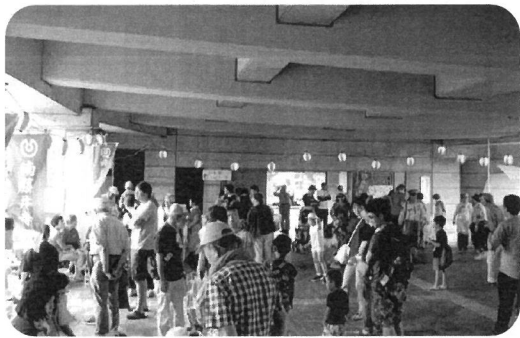
これから色々なプログラムを計画し、取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。今年度は冬の訪れが早いと聞きます。御身体お大切にお過ごしください。

令和元年 第58号  
社会福祉法人 賀光会  
救護施設 賀光寮  
障害福祉サービス事業所  
(生活介護) ポプラ  
発行人：川端 健高  
藤井寺市藤井寺4-11-8  
TEL 072-955-0653  
FAX 072-955-0905  
E-mail : gakoukai@m5.kcn.ne.jp  
http://www5.kcn.ne.jp/~gakoukai

## 南藤井寺 ふれあい祭り

支援員 柏木 和紀

8月24日(土)に第31回南藤井寺ふれあい祭りが14時〜20時の時間でシユラホールにて行われました。たこやき、かき氷、焼きそば、たこえびせん、ジュース、ヨーヨー釣り、輪投



今から南藤井寺ふれあい祭りが開催します!!!



あてもの、どうですか？  
いいものが当たりありますよ〜♪

げ、あてもの、陶器販売があり、賀光会はあてもの、陶器販売で参加をしました。14時から始まり、地域の親子連れの方々が多く、あてものは、とても好評でした。「絶対に当たりを引いてやるぞ!」と意気込むお子さんや景品の中身を見て「これが欲しい」と指をさして催促するお子さんなど各々で楽しまれていました。17時から、藤井寺吹奏楽事業団の演奏が始まりました。有名な曲の数々で、口ずさんでいる方や体を使ってリズムを取っている方など会場は、陽気な雰囲気に変わりました。最後には、

抽選会があり、花火や電化製品など子供から大人まで楽しめる景品でした。当選した人は、ガッツポーズをしたり、友達に自慢をしたりして楽しんでいました。

南藤井寺ふれあい祭りに来ていただいた方々の楽しそうな様子を見て、嬉しく思いました。

## 編集後記

今回の「きずな第58号」では、平成30年度の賀光寮・ポプラの事業報告を中心に掲載させて頂けていただきました。

賀光寮陶芸科では、来年の干支ねずみの土鈴を製作中です。次回の「きずな第59号」では賀光会バザール、賀光寮日帰り旅行、ポプラ社会体験などの行事を掲載する予定です。みなさんお楽しみに!!



## 【救護施設 賀光寮】

## 平成30年度賀光寮事業報告骨子

社会福祉法人制度改革がすすむ中、賀光寮においては、組織のガバナンスの向上はもとより、地域と利用者からより信頼される「賀光寮」を目指し、地域貢献を目的とした実践を重ねてまいりました。地域における公益的な取り組みを積極的、継続的に行うため、藤井寺市社会福祉施設連絡会及び大阪府社会福祉協議会「大阪しあわせネットワーク」の一員として、施設間連携と協働による生活困窮者支援に取組みました。

また、地域の保育所、小学校、こども会、自治会等への陶芸教室の実施協力、高齢核家族等への環境整備等、地域に向けての貢献活動を行いました。

利用者支援においては、法人の理念、基本方針に基づき、次のことを運営方針とし、利用者主体の質の高い総合的な福祉サービスの提供と作業科やクラブ活動の活性化に努めてまいりました。

今年度は、厚生年金の制度変更で年金を受給できることになった8人の方々に請求申請等の支援を行いました。平成30年度「賀光寮」運営方針は

- I 総合的な福祉サービスの提供
  - II 法令遵守
  - III 専門性の向上
  - IV 経営の安定、透明化
  - V 地域共生と啓発
- で具体的な内容は以下のとおりです。

## 生活支援

利用者の個別支援計画と利用者自治会での意見や個別の意向を尊重し、利用者の主体性を大切に、日常的な作業、通院、生活支援を中心に生活相談、作業療法、各種行事や娯楽活動などの支援を実施しました。

## 自治会活動

賀友会(利用者の自治会)の定例会で、健康管理、生活等の課題や要望について話し合い、行事・レクリエーションなどに利用者の意見を反映しました。食事に関しても、給食委員会において、賀友会の意見を取り入れ、季節を感じ、美味しく食事をしていただけようイベント食などで献立に変化をつけました。

## 居宅生活訓練事業及び保護施設通所事業による地域移行支援

地域移行を目指す利用者に生活技能の向上を目指した支援を実施するとともに、地域移行にあたっては、住居の確保や必要物品の購入など、必要な支援を行いました。居宅生活訓練事業の参加者は、昨年度からの継続参加が3人、9月及び2月からの新規参加が各1人で、計5人の利用者に金銭出納、食事内容確認、栄養相談、健康相談や火の始末等の安全管理に関する支援を行いました。保護施設通所事業は、延べ5人の方が利用されました。前年度から継続の2人は、通所訓練と訪問指導を利用され、日中活動としてリフォーム科とライトワーク科及び七宝クラブに参加されました。5人のうちの1人は、本年2月に地域移行し、保護施設通所事業の訪問指導の

利用を始められました。

## 災害対策

平成30年6月に昼間の火災を想定し、避難消防訓練を消防署立会いのうえ実施しました。9月には、大阪府が主催する「大阪80万人訓練」に合わせて防災訓練を実施する予定でしたが、台風21号の影響で府内各地域に被害が発生したことから大阪府が訓練中止を発表したため、訓練の日程を延期しました。当日は、備蓄食品の賞味期限の確認と備蓄食の炊き出し訓練のみを行いました。簡易テント、発電機、ヘルメット等の防災機器の点検を11月に実施し、また、延期となった防災訓練は、平成31年1月実施しました。

## 苦情解決

苦情・要望については、ホームページで公表し、苦情解決システムの適切な活用を図るとともに、第三者委員による巡回相談や心理相談員による生活相談の機会の提供を行いました。

## 地域貢献

地域の一員として、交流を促進するとともに地域福祉の向上を目的に、「パープル&社協フェスタ」(藤井寺市社会福祉協議会主催)、「南藤井寺ふれあい祭り」(南藤井寺地区主催)等の地域行事に藤井寺市社会福祉連絡会や地元町会と連携し、参加をしました。ボランティア、社会福祉現場実習、介護等体験の受け入れを行いました。恒例の賀光会バザールを10月に開催、もちつき大会を12月に実施しました。

## 【生活介護ポプラ】

## 平成30年度ポプラ事業報告骨子

ポプラでは、法人の理念、基本方針に基づき、利用者一人ひとりが輝き潤いのある生活を現現できるよう、日中活動の充実と安定した経営を第一の課題として、質の高いサービス提供と事業運営に努めてまいりました。また、「楽しい時間が過ごせるプログラムの設定」や「個別支援計画に基づくサービスの提供」を基本姿勢とし、サービスの質の向上及び職員の資質向上に取り組みました。平成30年度「ポプラ」運営方針は

- I 総合的な福祉サービスの提供
  - II 喜びを実感できる生活の実現
  - III 安心、安全な支援と管理
  - IV 専門性の向上
  - V 経営の安定、透明化
  - VI 地域共生と情報発信
- で具体的な内容は以下のとおりです。

## 生活支援

利用者の同意に基づいて作成した個別支援計画を基に①生産活動、②創作的活動、③社会体験、④レクリエーション、⑤生活相談、⑥理学療法などのプログラムの提供と支援を行いました。

## 生産活動

生産活動は、利用者が働く喜びを実感し、やりがいを持って、自己実現できる機会となるよう創意工夫しました。4業者からの受託

による作業を実施しました。作業内容は、木工用ボンドの袋詰め、文具糊の袋詰め、古紙回収袋の袋詰め、UVカラーレジンの袋詰め、のし袋の袋詰め、連絡ノートのカバー付け、ヘアピンの差し金揃えです。

## レクリエーション

生活支援の一環として位置づけ、日常と違った変化のある行事や活動をとおして、色々な場面で違った視点で支援することを目的として、実施しました。

## ひまわりの会(利用者自治会活動)

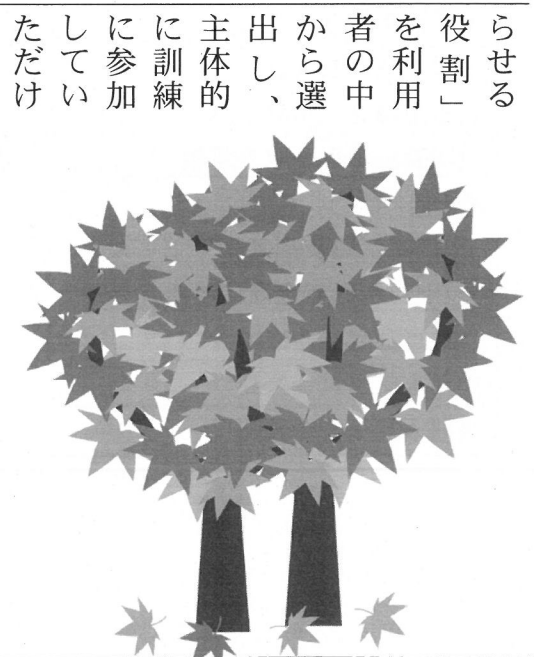
毎月1回、計12回、実施しました。利用者が主体的に活動し、おやつ作り、創作活動、社会体験や、趣味及び興味を取り入れた楽しみのあるプログラム(DVD鑑賞)の内容等を検討しました。

## 社会体験

花見は、利用者の希望を募り、4月2日～5日の3日間で、四天王寺大学羽曳野キャンパスとシユラホール、賀光会敷地内の桜の木の下で実施しました。上半期の日帰り社会体験は、関西国際空港の見学を4日間(7月20日、23日、30日、31日)の日程で実施し、下半期は、吹田市にある「ニフレ」へ4日間(11月7日、13日、17日、27日)の日程で実施しました。

## 災害対策

6月に、消防署の立会いの上で、昼間の火災を想定した避難・消防訓練を実施しました。また、今年度は、「火元を発見し火災発生を知



らせる役割」を利用者の中から選出し、主体的に訓練に参加していただけた。ただ、防災訓練を、9月3日に大阪府が主催する、地震想定の大規模88万人訓練にあわせて実施する予定でしたが、台風第21号の影響で、府内各地域に被害が発生し、大阪府が訓練中止を発表したため、ポプラでも日程を延期することとなりました。そのため9月3日の訓練当日は、備蓄食品の賞味期限の確認と、備蓄食の炊き出し訓練のみを行いました。その後、11月に、簡易テント、発電機、ヘルメット等の防災機器の点検を行いました。また、延期となった防災訓練は、平成31年1月に実施しました。

## 地域貢献

大谷大学の介護等体験生を延べ40人、西浦支援学校が行う「夏季施設実習(体験学習)」として、高等部の生徒1人、藤井寺市立第三中学校の職業体験生2人を受け入れました。

## 【平成30年度 社会福祉法人 賀光会 決算報告】

## 貸借対照表

(平成31年3月31日)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	77,155,489	流動負債	14,307,133
現金預金	54,714,405	事業未払金	9,551,675
事業未収金	20,321,055	預り金	0
貯蔵品	94,923	職員預り金	884,124
立替金	1,535,176	賞与引当金	3,871,334
前払金	188,330	固定負債	6,079,177
仮払金	301,600	退職給付引当金	6,079,177
固定資産	327,755,600		
基本財産	166,697,194		
土地	4,469,523		
建物	142,227,671		
定期預金	20,000,000		
その他の固定資産	161,058,406	負債の部合計	20,386,310
建物	650,238	純資産の部	
建物附属設備	14,065,745	基本金	113,971,686
建築物	1,361,251	国庫補助金等特別積立金	111,528,204
車両運搬具	2,147,656	その他の積立金	130,000,000
器具及び備品	6,753,553	次期繰越活動増減差額	29,024,889
権利	136,391		
ソフトウェア	0		
退職給付引当資産	5,870,752		
人件費積立資産	30,500,000		
施設整備等積立資産	99,500,000		
その他の固定資産	72,820	純資産の部合計	384,524,779
資産の部合計	404,911,089	負債及び純資産の部合計	404,911,089

## 資金収支計算書

自平成30年4月1日  
至平成31年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額
事業活動収入計	218,609,008
事業活動支出計	204,507,003
事業活動資金収支差額	14,102,005
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	9,718,920
施設整備等資金収支差額	△9,718,920
その他の活動収入計	11,603,840
その他の活動支出計	5,635,553
その他の活動資金収支差額	5,968,287
当期資金収支差額合計	10,351,372
前期末支払資金残高	56,368,318
当期末支払資金残高	66,719,690

## 事業活動計算書

自平成30年4月1日  
至平成31年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額
サービス活動収益計	216,015,105
サービス活動費用計	209,959,562
サービス活動増減差額	6,055,543
サービス活動外収益計	2,593,903
サービス活動外費用計	737,776
サービス活動外増減差額	1,856,127
経常増減差額	7,911,670
特別収益計	0
特別費用計	0
特別増減差額	0
当期活動増減差額	7,911,670
前期繰越活動増減差額	15,613,219
当期末繰越活動増減差額	23,524,889
基本金取崩額	0
その他積立金取崩額	10,000,000
その他積立金積立額	4,500,000
次期繰越活動増減差額	29,024,889